

「あらかわの心」ニュース

第24号

平成30年
3月5日発行

「あらかわの心」

推進運動とは

今号では、「あらかわの心」推進運動の活動紹介や、参加団体の活動報告についてお届けします。

「あらかわの心」推進運動は、大人が自ら認識し実践することによって、青少年の心を育もうとする、区民の皆様が主体となって推進していく区民運動です。

「あらかわの心」推進運動では、「まず大人が行動する」と子どもが「一緒に行動」し、「地域ぐるみで子どもを見守り育てる」という3つの視点に基づき、取り組みを進めています。具体的には、「あいさつ、きまり、思いやり、体験、見守り」という5つの心をつなぐ5つの取り組みを実践しています。



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク



あらかわ
©荒川区2010 # (29-0025) あらかわの心
©荒川区2012 # (29-0025)

【3つの視点】

- ◆ まず大人が行動する
- ◆ 大人が子どもと一緒に行動する
- ◆ 地域ぐるみで大人が子どもを見守り育てる

【心をつなぐ5つの取り組み】

- ◆ 笑顔であいさつをしよう
- ◆ きまりを守ろう
- ◆ 思いやりをもとう
- ◆ いろいろな体験をしよう
- ◆ 見守り、声をかけよう

活動紹介

「あらかわの心」カルタ

読み札を一般公募し、製作したカルタで、楽しみながら「あらかわの心」に親しむことができます。年に1度の「カルタ大会」の他、10月～11月に開催される各地区の「こどもまつり」のブースで実際に体験してもらい、子ども達には大好評です。

（2月に開催された第9回カルタ大会の様子は3ページに掲載しています。）



このカルタは、区役所2階児童青少年課（14番窓口）で1組500円で頒布しています。

様々な取り組みを通して、「あらかわの心」を推進しています。（4ページでは、「おせつかいおじさん・おばさん運動」を特集

出前説明会・PR寸劇

区民委員会では、「あらかわの心」の活動内容を広く周知するために、出前説明会を開催しています。説明会は、マンガリーフレットとクリアファイルを活用して行っています。

また、「あらかわの心」推進運動について、楽しみながら理解を深め、実践に結び付けることを目的としたPR寸劇も上演しています。「あらかわの心」の5つの取り組みをクイズ形式で投げかける観衆参加型となっており、川の手荒川まつり等で上演しています。



▲PR寸劇の様子

出前説明会とPR寸劇の申し込みは事務局まで

「あらかわの心」推進運動区民委員会では普及・啓発のため、学校や諸団体へ出向き、出前説明会や寸劇などのPR活動を行っています。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

南千住なかよしまつりを終えて

平成29年10月15日(日)、第48回南千住なかよしまつりが行われました。本来は、南千住野球場で大規模に開催される予定でしたが、当日はあいにくの雨天のため南千住ふれあい館で開催され、無事事故もなく盛大に行うことが出来ました。これも南千住の各町会、PTA、中学生ボランティアを始め、各団体関係者皆様の御協力のお陰であると感謝しております。

南千住なかよしまつりとは、南千住にある各団体の大人が子どものために行う「子どもまつり」であります。アトラクションや屋台を出し、子ども達が喜ぶイベントにしています。また、各小学校のこにこすくーるなどの子ども達がダンスなど日頃練習してきた成果を発表する場でもあります。

特徴的なのが、南千住にある中学校3校の中学生ボランティアが大人と一緒に小学生や幼児のため中心となり活躍している事です。

この様に、地域の人たちが大人も中学生も一体となり、地域の子どもの育てていくという、素晴らしい南千住なかよしまつりが今後も続いていく事を切に願っております。



▲ステージも盛り上がりました

青少年育成
南千住地区委員会
南千住なかよしまつり

運営委員長
町田 高

キンボールW杯 韓国代表との交流会

平成29年10月30日(月)、瑞光小学校の児童とキンボールW杯韓国代表チームとの交流会が行われました。今年は2年に一度、世界大会キンボールW杯が、東京で行われる年であったため、このような機会をいただくことができました。

交流会は、瑞光小学校に到着した選手、コーチの皆様とともに給食を食す交流から始まりました。初めは緊張していた様子の子ども達も、時間が経つにつれ、大変和やかな雰囲気の中、食事することができました。食事後、場所を荒川総合スポーツセンターに移し、いよいよキンボールスポーツの交流です。開会式では西川区長からお話をいただいた後、韓国代表選手のウォーミングアップが始まると子ども達の歓声が上がります。さらに、全児童対象のキンボール教室、韓国代表と6年生代表との交流試合と充実した交流会となりました。短い時間ではありましたが、

荒川区キンボールスポーツ連盟の小山会長始め、多くの皆様のおかげで貴重な体験をすることができた交流会でした。



▲キンボールで韓国代表選手と交流

瑞光小学校校長
大橋 昭彦

ふれあいコンサート

東京荒川西ライオンズクラブは結成以来、35年以上にわたり地元荒川を中心にたくさんの人々に喜ばれながら奉仕活動を行って参りました。「未来を担う青少年の育成」をメインテーマに掲げて活動しており、「フットサル大会」や「薬物乱用防止教室」も開催しております。中でも、「ふれあいコンサート」は、毎年3校づつ区内小学校全校を巡回しており、たいへん楽しく元気な子ども達の顔の見るのがうれしい活動です。今年度は、10月に赤土小学校、3月に峡田小学校で開催したほか、今後第二日暮里小学校で開催します。近年は、音楽ボランティア管弦楽団「アンサンブル荒川」のご協力をいただいて、本格的オーケストラの演奏を聴くことはもちろん、楽器の説明や実際の音色を聞いたり、最後には校歌や合唱曲をオーケストラの伴奏で全校児童で歌ったりもします。多感な年ごろの子どもたちがこの体験を通して、音楽に親しみ、人生が豊かになることを期待しています。



▲赤土小学校でのコンサート

東京荒川西
ライオンズクラブ
会長 成田 豊子



楽しかったきのこ狩り



平成29年10月1日(日)、レインボー子ども会の行事で、きのこ狩りに行きました。みんなでかき切りバスにのって、千葉県佐倉市へ向かいました。きのこ園に到着して、きのこの園の人にしいたけのとり方を教えてもらいました。しいたけの生えているねもとを残さずに切りとらないとダメだと知り、むずかしかったです。やっっているうちにうまくとれるようになり、大きなしいたけがたくさんとれました。その後は、一度大きな風車がある所に行つて、そこで走ったりして遊びました。そして、またきのこ園にもどってきてバーベキューをしました。とりたてのおいしいしいたけを食べることができてうれしかったです。

レインボー子ども会では、このように遠くへ出かけることや、尾久第六小学校の近くでそつめん大会やクリスマス会があるので、次は何ができるのかなとわくわくしています。

レインボー子ども会

尾久第六小学校 三年 宇佐美 香雪



▲当日の様子

第9回

「あらかわの心」カルタ大会

平成30年2月4日(日)に、第9回「あらかわの心」カルタ大会が開催されました。このカルタ大会は、「あらかわの心」カルタを使用して対戦するもので、カルタ遊びを通して「あらかわの心」推進運動について理解を深めてもらうことを目的としています。

当日は、59名の子ども達が参加しました。学年ごとに、未就学児の部、低学年の部、高学年の部にクラス分けされ、対戦を行いました。試合中は、身を乗り出して絵札を取りに行く競技者も見受けられるなど、白熱した大会となりました。また、家族や友達も応援に駆け付け、大いに盛り上がりました。

競技終了後、上位入賞者(各クラス1〜8位)にはメダルが贈呈されました。また、今回で通算6回目の参加となった児童には、「あらかわの心」賞として、あらかわグッツが贈呈されました。さらに、参加回数・優勝回数ともに優秀な成績を残してくれた小学6年生に、『感

謝状』を贈呈しました。今後、カルタを通して「あらかわの心」の普及・啓発に力を貸してもらえれば嬉しく思います。

カルタ大会へ参加することで、子どもたちは「あらかわの心」とは何かを深く知ることができます。これからも、カルタ大会を通して「あらかわの心」推進運動の輪が広がるよう、普及・啓発活動を続けていきたいと思ひます。

各部の優勝者及び「あらかわの心」賞の受賞者は左記のとおりです。

『優勝』

- ・未就学児の部
中北 夕愛さん(黒川幼稚園)
 - ・小学校低学年の部
飛田 杏花さん(根岸小)
 - ・小学校高学年の部
高谷 友里さん(尾久西小)
- ※感謝状贈呈

「あらかわの心」賞

- ・高谷 友里さん(尾久西小)
- ・高谷 里沙さん(尾久西小)
- ・森田 いち子さん(尾久第六小)



▲みんなで集合写真

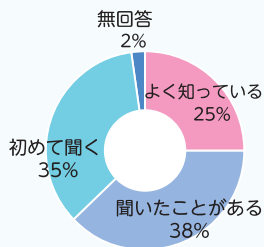


▲真剣勝負を繰り広げています

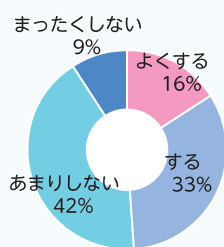
「おせっかい」アンケートにご協力いただきました！

第31回川の手荒川まつりのブースでは、運動の一環として啓発している「おせっかいおじさん・おばさん運動」に関するアンケートを実施。110人から回答をいただくことができました。

この運動を知っている？



「おせっかい」をする？



あなたがした「おせっかい」を教えてください！

- 保育園、幼稚園の子ども登園を見守っている
- 車いすを自動車に入れるのを手伝ってあげた
- 自転車乗車時のマナー違反を注意した
- スマホをしながらの歩行や自転車の乗車を注意した

身の回りで起きた「おせっかい」にまつわる話

- 親が自転車に子どもを乗せたまま買い物に行ってしまった、子どもが騒いで倒れそうになったところを助けた
- 歩きスマホをしていて注意された
- 自分の子どもが鍵を忘れて困っていたら、自分の携帯で連絡をとってくれた人がいた

今日、「おせっかい」という言葉のイメージは必ずしも良くありません。しかし、誰かに世話を焼くことや支え合うことは、人が地域で生きていくために大事なことであり、「他人に関心を持ちながら生きていく」と呼びかける必要があると考えています。

この運動では、普段「おせっかい」にためらいを感じている人が、勇気をもって一歩を踏み出せるような啓発活動に取り組んでいます。



「おせっかい」の体験談として、多数のエピソードを掲載したリーフレット

クイズ/アンケート

クイズとアンケートの両方にお答えください。正解者の中から5名の方に「あらかわの心」推進運動定規セットをプレゼント致します。郵送かメールで応募してください。

● 郵送の場合

はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

〒116-8501

東京都荒川区荒川2-2-3

荒川区子育て支援部児童青少年課内
あらかわの心ニュース

「クイズ/アンケート」係

● メールの場合

メールの件名を下記のようにして、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

メール件名 あらかわの心
「クイズ/アンケート」係

Eメール arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

● 締め切り

平成30年6月15日。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見は、ニュース等の広報誌でご紹介させていただくことがありますので、ご了承ください。

クイズ

〇〇〇の中に入る言葉は何でしょう？

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、〇〇〇〇〇おじさん・おばさん運動を推進しています。

アンケート

- ① このニュースはどこで手にしましたか。
- ② もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。
- ③ その他、ご意見・ご感想等がありましたら、お願いします。

定規セット▶



大人が変われば子供も変わる こころの東京革命

こころの東京革命とは、親と大人が責任を持ち、次代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人と生きていくうえで当然の心得を伝えていく取り組みです。

東京都が推進する「こころの東京革命」を、荒川区独自の視点で捉え展開しているのが、「あらかわの心」推進運動です。

第24号 平成30年3月5日発行

発行「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局

〒116-8501 荒川区荒川2-2-3 (荒川区子育て支援部児童青少年課内)

TEL.03-3802-3111(内線3833) FAX.03-3802-3174

<Eメール> arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

<ホームページ> https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku_seishonen/suishinundo/index.html